

農業経営におけるリスク管理を

～第1回八千代市梨業組合 GAP 研修会を開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和5年7月14日発

八千代市では梨の生産が盛んに行われており、多くの農家で庭先直売が行われています。そのため消費者に安全な梨を届けるためには、生産から販売までの工程においてリスク管理のために、GAP の視点が必要となります。

そこで、6月22日に八千代市梨業組合員を対象にGAP研修会を開催しました。普及から農家がGAPの考え方を理解するために、取り組む意義やリスクに応じた対策を検討する必要性を説明しました。また、GAPの審査基準をもとに作成したチェックリストを用いて、労働安全や食品安全について、リスク対策への取組状況を確認しました。

講義後の意見交換では、「望ましい農業の姿がわかることは有意義だ。」という意見や、「全ての農業者がGAPに取り組むべきだ。」等の発言がありました。

農業事務所では、今後も研修会を開催し、GAP手法の定着を支援します。



GAPの概要について説明